

北部九州の船と交流～伊都国を中心に～

江野 道和（糸島市教育委員会）

1. はじめに

北部九州は古来より、朝鮮半島・大陸と列島内各地とを結ぶ交流の重要な拠点であった。半島南部から対馬、一支を経て末盧・伊都・奴の各国に至るルートは、『魏志』倭人伝に記された当時の主要外交ルートと位置付けられている。本稿では、北部九州から出土した船に関する資料の紹介を行った後に、日本海沿岸地域の交易の一例として玉作資料を取り上げる。

2. 船の部材（第1図、表1）

糸島地域では、潤地頭給遺跡、上罐子遺跡、今宿五郎江遺跡、元岡遺跡などで出土例がある。また、福岡県東岸の豊前地域では、延永ヤヨミ園遺跡から堅板が出土している。このうち、潤地頭給例は最も部材が充実しているといえ、6枚の船底部と1枚の舷側板の計7枚が出土している。船底部となる部材はそれぞれ長さ1.2～1.5mほどで、厚みは3.5～4.5cm程度、舷側板は、長さ1.5m、幅23cm、厚さ4.5cmである。いずれにもほぞ穴が穿たれており、桜の皮が残されている穴もみられる。これは船底と舷側を綴るために使われた可能性があり、このことから準構造船であったと考えられる。

3. 舟形木製品（第2図、表2）

弥生～古墳時代までの舟形木製品のうち、残りの良い資料としては福岡市の吉武樋渡遺跡、佐賀県の吉野ヶ里遺跡、長崎県の原の辻遺跡などの出土品がある。吉武樋渡例は長さ58.5cm、最大幅11.3cm、最大高9.0cmで、長さ対幅の比は5.1対1となり、舳と艤の形態が異なるところに特徴がある。吉野ヶ里例は長さ49cm、最大幅7.2cmで、長さ対幅の比率は約7対1となり、全体的に細長く、舳艤が共に大きく反り上がる。右舷の縁に櫂座と考えられる凹凸が残っている。原の辻例は長さ62.0cm、幅13.3cm、高さ9.5cmで、長さ対幅の比は4.6対1となり、他の2例と比べ幅広い。舷側板と船底部の接合部を表したと考えられる割り込みや舳部に堅板を固定する可能性のある溝が彫られていることから準構造船を表した可能性がある。

4. 絵画資料（第3図、表3）

絵画資料としては、土器に線刻された絵画と装飾古墳の壁画等がある。このうち、土器の絵画として、原の辻遺跡出土品は壺の頸部付け根付近に、ゴンドラ形の船が上下逆さまに描かれ、船の内側には櫂または漕ぎ手と考えられる縦線がびっしりと並ぶ。福岡県貫川遺跡出土品は、壺の肩部に船の絵が描かれる。舳艤が共に大きく反り上がり、中央部には長方形の箱形を載せ、船の下部には2本の櫂のような線が突き出る。

5. 船の推進具（第4図、表4）

北部九州における最古の例としては、佐賀県の東名遺跡からの出土品があげられ、合計26本が報告されており、いずれも縄文時代早期とされる。弥生時代の例として、福岡市雀居遺跡出土品は先端が鋭利に尖っており、漕ぐだけではなく、竿のようなく水底を突いて船を動かした可能性がある。

6. 船を介した日本海沿岸地域の交流（第5図）

北部九州と山陰・北陸地方との日本海沿岸交流を示す資料の一つに玉の製作が挙げられる。潤地頭給遺跡では弥生時代後期後半から古墳時代初頭にかけて大規模な玉作り集落が形成されるが、この原石である碧玉の多くは島根県花仙山産であることが判明しており、少量ではあるが、石川県菩提産や新潟県猿八産もある（藁科2011）。

7. おわりに

潤地頭給と併行する時期に北部九州の玄界灘～響灘沿岸地域では玉作りを行う集落が展開していた。玉の原石や加工技術の搬入、製品の搬出等に船が活躍していたことは容易に想像され、この時期、日本海交易が活発に行われていたことを示す一つの証しといえる。

【引用・参考文献】

一瀬和夫 「船・ソリ」『古墳時代の考古学』5（同成社、2012年）

江野道和 「伊都国の港と船」『伊都国の研究』（学生社、2012年）

渡部俊哉 「肥前・壹岐の装飾古墳」『考古学ジャーナル』395（ニュー・サイエンス社、1995年）

藁科哲男 「九州地方使用玉類の組成と同じ組成の玉類の使用圏について」『魏志倭人伝の末盧国・伊都国』（日本玉文化研究会、2011年）

表1 主な船の部材一覧表（弥生～古代、北部九州）

図番号	資料名	遺跡名	遺構名	住 所	時 期	法 量 (cm)	樹 種	出 典	備 考
1	舟材	潤地頭給遺跡	II区 井戸	福岡県糸島市	弥生終末	長143	スギ	1	船底部1
1 2	舟材	潤地頭給遺跡	II区 井戸	福岡県糸島市	弥生終末	長142	スギ	1	船底部2
1 3	舟材	潤地頭給遺跡	II区 井戸	福岡県糸島市	弥生終末	長147	スギ	1	船底部3
1 4	舟材	潤地頭給遺跡	II区 井戸	福岡県糸島市	弥生終末	長120	スギ	1	船尾部（舡？）
1 5	舟材	潤地頭給遺跡	II区 井戸	福岡県糸島市	弥生終末	クスノキ	1		
1 6	舟材	潤地頭給遺跡	II区 井戸	福岡県糸島市	弥生終末	クスノキ	1		
1 7	舟材	潤地頭給遺跡	II区 井戸	福岡県糸島市	弥生終末	長150	スギ	1	舷側板。はぞ穴に桜の皮が残る。
	舟材	上護子遺跡		福岡県糸島市	弥生中期	長108		2	船？
	舟材	今宿五郎江遺跡	SD50	福岡県福岡市	弥生後期初頭	(長147)		3	船底？
	舟材	今宿五郎江遺跡	SD50	福岡県福岡市	弥生後期初頭	(長74)		3	船底？
	舟材	元岡遺跡		福岡県福岡市	弥生後期～古墳前期			2	未報告。隔壁？
	舟材？	拾六町ツイジ遺跡	(G-3) 第3号土坑下層	福岡県福岡市	弥生前期後半	長(42.3)	クスノキ	4	
	舟材	延永ヤヨミ園遺跡	井戸	福岡県行橋市	弥生終末			5	未報告。堅板
	舟材	伊木力遺跡	遺物包含層	長崎県諫早市	縄文前期前葉～中葉	長(650)	6・7・8		船体
	舟材	唐比出土		長崎県諫早市(森山町)				6	船体。塙屋氏、安楽氏のご教授による。

表2 主な舟形木製品・埴輪一覧表（弥生～古代、北部九州）

図番号	資料名	遺跡名	遺構名	住 所	時 期	法 量 (cm)	樹 種	出 典	備 考
1	舟形木製品	今宿五郎江遺跡	SD100	福岡県福岡市	弥生後期初頭	(長48.8)	1		
2	舟形木製品	今宿五郎江遺跡	SD100	福岡県福岡市	弥生後期初頭	(長41.5)	1		
3	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C末～8C後半	長23.7	2		報22。中央に屋形あり。樹皮を残す。
4	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C末～8C後半	長16.2	2		報23。中央に屋形あり。
5	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C末～8C後半	長18.2	2		報24。中央に屋形あり。樹皮を残す。
6	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C末～8C後半	長21.0	2		報25。中央に屋形あり。
7	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C末～8C後半	長20.5	2		報26。中央に屋形あり。
8	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C末～8C後半	長22.3	2		報27。中央に屋形あり。
9	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C末～8C後半	長19.6	2		報28。中央に屋形あり。
10	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C末～8C後半	長22.7	2		報29。中央に屋形あり。
11	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C末～8C後半	長17.5	2		報30。中央に屋形あり。
12	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C末～8C後半	長21.5	2		報31。中央に屋形あり。
13	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C末～8C後半	長17.0	2		報32。中央に屋形あり。
14	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C末～8C後半	長11.7	2		報33。中央に屋形あり。
15	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C末～8C後半	長(10.3)	2		報34。中央に屋形あり。
16	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C末～8C後半	長(8.4)	2		報35。中央に屋形あり。
17	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C末～8C後半	長10.8	2		報36。中央に屋形あり。
18	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C末～8C後半	長16.3	2		報37。中央に屋形あり。
19	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C末～8C後半	長(19.8)	2		報38。中央に屋形あり。
20	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C末～8C後半	長15.2	2		報39。屋形無し
21	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C末～8C後半	長12.9	2		報40。屋形無し
22	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C末～8C後半	長11.5	2		報41。屋形無し
23	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C末～8C後半	長18.8	2		報42。屋形無し
24	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C末～8C後半	長19.3	2		報43。屋形無し

図番号	資料名	遺跡名	遺構名	住 所	時 期	法 量 (cm)	樹 種	出 典	備 考
25	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C末～8C後半	長17.1		2	報44。屋形無し
26	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX123	福岡県福岡市	奈良(7～8C)	長16.5		3	
27	舟形木製品	拾六町ツイジ	3号土坑上層	福岡県福岡市	弥生後期初頭	(長27.7)	4・5・6		
28	舟形木製品	拾六町ツイジ	包含層	福岡県福岡市	古墳中期	(長30.4)	7・5		
29	舟形木製品	拾六町ツイジ	包含層	福岡県福岡市	古墳中期(5C前半)	(長30.8)	7・5		
30	舟形木製品	拾六町ツイジ	包含層	福岡県福岡市	古代？	長17.4	7・5		
31	舟形木製品	吉武種渡遺跡	吉武種渡	河内川川底	福岡県福岡市	古墳中期	(長58.5)	8・5	
32	舟形木製品	井和田C遺跡	SD01	福岡県福岡市	奈良(8C後半)	長20.4		9・10	
33	舟形木製品	高隈遺跡(板付B-12b・C区)	SD01	福岡県福岡市	奈良～平安	長15.3		11	
34	舟形木製品	須恵永田遺跡	2号井戸	福岡県春日市	弥生後期	(長21.5)		12	
35	舟形木製品	須恵永田遺跡	2号井戸	福岡県春日市	弥生後期	(長13.6)		12	
36	舟形木製品	大宰府条坊跡	SD001下層	福岡県太宰府市	奈良(8C前半～中頃)	(長35.7)		13・5	
37	舟形木製品	大宰府条坊跡	SD001下層	福岡県太宰府市	奈良(8C前半～中頃)	長18.4		13・5	
38	舟形木製品	大宰府条坊跡	SD001下層	福岡県太宰府市	奈良(8C前半～中頃)	長21.6		13・5	
39	舟形木製品	大宰府条坊跡	SD001下層	福岡県太宰府市	奈良(8C前半～中頃)	—		13・5	
40	舟形木製品	大宰府史跡	SD2340下層	福岡県太宰府市	奈良(8C前半)	長4.8		14・5	
41	舟形埴輪	堤当寺古墳		福岡県朝倉市	古墳中期(5C中頃)	(長30)		15・16	
2・42	舟形木製品	吉野ヶ里遺跡(田一木松地区232調査区)	SD40	佐賀県神埼市・吉野ヶ里町	弥生中期後半～後期前半	長49.0	カヤ	17	櫛形の表現有。時期については細川金也氏からご教示頂いた。
43	舟形木製品	吉野ヶ里遺跡(田一木松地区232調査区)		佐賀県神埼町	弥生中期後半～後期前半	長30		未報告	舟形容器か。細川氏、渡部芳久氏からご教示頂いた。
44	舟形木製品	菜畠遺跡	包含層	佐賀県唐津市	弥生中期	(長14.5)		18・10	櫛部か。
45	舟形木製品	中原遺跡	2区 SD256	佐賀県唐津市	奈良	長30.5	マツ属		輪に堅板をはめ込むための構造。
46	舟形木製品	中原遺跡	2区 SD256	佐賀県唐津市	奈良	長23.8	スギ		船底内部3カ所を深く彫る。
47	舟形木製品	中原遺跡	2区 SD256	佐賀県唐津市	奈良	長8.1			
48	舟形木製品	中原遺跡	2区 SD256	佐賀県唐津市	奈良	(長14.8)			舟形容器か。
49	舟形木製品	石木遺跡	SX006	佐賀県唐津市	古墳	長45.5		20・5	
2・50	舟形木製品	原の辻遺跡	河川跡 SD05	長崎県壱岐市	弥生中期	長62.0		21・22	

表3 主な絵画関係資料一覧表 (弥生~古墳、北部九州)

図 番 号	資料名	遺跡名	遺構名・描かれた 位置	住 所	時 期	法 量 (cm)	出 典	備 考
1	線刻土器	前田遺跡		福岡県太宰府市	弥生後期	1、2		
3	線刻土器	賀川遺跡		福岡県北九州市		3		
3	彩色壁画	竹原古墳	後室奥壁	福岡県若宮市	6C 後半	4 ~ 6、23		
4	彩色壁画	五郎山古墳	玄室奥壁、玄室東側壁、玄室西側壁、 福岡県筑紫野市 前室北壁			7、4、23、 24		
5	彩色壁画	瀬戸1号横穴 夷壁		福岡県中間市	7C 前半	8、4、23		
6	線刻壁画	土手の内構穴 1号	夷壁	福岡県中間市	—	4、23		
7	線刻壁画	椎生羅漢山横穴 3a-1号	前室	福岡県中間市	7C 前半~後半	4、23		
8	線刻壁画	黒部6号横穴	玄室左側壁、左玄室	福岡県豊前市	6C 末~7C 中	9、4、23		
9	彩色壁画	原古墳	玄室奥壁	福岡県うきは市	6C 後半	10、4、23		
10	彩色壁画	鳥船塚古墳	玄室奥壁	福岡県うきは市	6C 後半	4、23		
11	彩色壁画	日岡古墳	玄室右側壁	福岡県うきは市	6C 前半	11、4、23		
12	彩色壁画	珍塚古墳	後室奥壁	福岡県うきは市	6C 後半	4、23		
13	彩色壁画	下馬場古墳	後室右側壁	福岡県久留米市	6C 後半	12、4、23		
14	彩色壁画	中原狐塚古墳		福岡県久留米市	6C 前半	5、23		
15	彩色壁画	西船古墳		福岡県久留米市	6C 後半	5、23、22		
16	彩色壁画	若宮古墳		福岡県久留米市	—	5		
17	彩色壁画	寺德古墳		福岡県久留米市	6C 後半	23		
18	彩色壁画	隈3号横穴		福岡県久留米市	6C 未	23		
19	線刻壁画	福荷山横穴		福岡県久留米市	6C 未	23		
20	線刻壁画	倉永古墳		福岡県大牟田市	6C 後半	5、23		
21	彩色壁画	蘿ノ尾古墳		福岡県大牟田市	6C 後半	13、4、23		
22	彩色壁画	祇上観音塚古墳	後室奥壁	福岡県筑前町	6C 未	14、4、23		
23	線刻壁画	猿塚古墳	後室奥壁、左右側壁	福岡県朝倉市	6C 後半~7C 前半	15、4、23		
24	線刻土器	湯古2号横穴		福岡県大野市	古墳前期	4		
25	線刻壁画	花立山古墳		福岡県小郡市	古墳後期	5		
26	彩色壁画	田代太田古墳	後室袖石、後室奥壁、中室右側壁	佐賀県鳥栖市	6C 後半	16、4、23		
27	線刻壁画	天山横穴 北の森古墳	内壁	佐賀県多久市	6C 未	4、23		
28	線刻壁画	北の森古墳	内壁	佐賀県多久市	6C 未~7C 初	5		
29	線刻壁画	古賀山4号横穴	内壁	佐賀県多久市	7C 前半	4		
30	線刻壁画	妻山4号横穴		佐賀県白石町	6C 後半	5、23		
31	線刻壁画	湯崎2号横穴		佐賀県白石町	6C 未	5、23		
32	線刻壁画	勇猛寺古墳2 玄室右側壁、玄室奥壁		佐賀県北方町	7C 前半	17、4、23		
33	線刻土器	原の辻遺跡	石田大原地区	長崎県若狭市	弥生中期後半	9.2 × 2.3	18	船のほかに線の絵有
34	線刻土器	カラカミ縄文		長崎県若狭市	弥生後期	4		土器焼成後に線刻
35	線刻壁画	鬼屋塚古墳	南側左側壁、右側壁	長崎県若狭市	7C 後半以降	19、18、23		後世の線刻である可能性も
36	線刻壁画	大米古墳	袖石	長崎県若狭市	6C 未~7C 初	20、18、23		後世の線刻である可能性も
37	線刻壁画	尾越古墳	後室右側壁	長崎県若狭市	7C 前半	4		
38	線刻壁画	兵頭古墳	前室右側壁	長崎県若狭市	6C 未~7C 前半	18、23		後世の落書きの下に船の線刻残る
39	線刻壁画	百田頭5号横穴		長崎県若狭市	6C 後半~7C	4、23		後世の線刻である可能性も
40	線刻壁画	双六古墳	前室右側壁	長崎県若狭市	6C 中頃	4、23		後世の線刻である可能性も
41	線刻壁画	長戸鬼塚古墳	前室左側壁	長崎県諫早市	6C 未~7C 前半	4、23		

表4 主な櫛状木製品一覧表 (縄文~古墳、北部九州)

図 番 号	資料名	遺跡名	出土地点・遺構	住 所	時 期	法 量 (cm)	樹 種	出 典	備 考
1	櫛状木製品	赤村遺跡	第4次調査 SX12	福岡県福岡市	弥生前期末~中期初頭	長 138.7	シイ	1 ~ 6	完形 1
2	櫛状木製品	拾六町ツイジ 遺跡	第3号土坑	福岡県福岡市	弥生後期初頭	長 109.7	(散孔材)	7、4 ~ 6	破片 1
3	櫛状木製品	拾六町ツイジ 遺跡	第4号土坑	福岡県福岡市	弥生	長 (56.2)	タイミンタ チバナ	7、4 ~ 6	
4	櫛状木製品	長行遺跡		福岡県北九州市	弥生前期末	長 101.4	カシ	8、9、4 ~ 6	
5	櫛状木製品	長行遺跡		福岡県北九州市	弥生前期末	長 101.1	カシ	8、4 ~ 6	
6	櫛状木製品	長行遺跡		福岡県北九州市	弥生前期末	長 105.3	カシ	8、4 ~ 6	
7	櫛状木製品	長行遺跡		福岡県北九州市	弥生前期末	長 (98)	カシ	8、4 ~ 6	
8	櫛状木製品	長行遺跡		福岡県北九州市	弥生前期末	長 (90)	カシ	8、4 ~ 6	
9	櫛状木製品	長行遺跡		福岡県北九州市	弥生前期末	長 (82)	カシ	8、4 ~ 6	
10	櫛状木製品	長行遺跡		福岡県北九州市	弥生前期末	長 94.8	カシ	8、4 ~ 6	
11	櫛状木製品	長行遺跡		福岡県北九州市	弥生前期末	長 100.7	カシ	8、4 ~ 6	
12	櫛状木製品	長行遺跡		福岡県北九州市	弥生前期末	長 99.3	カシ	8、9、4 ~ 6	
13	櫛状木製品	長行遺跡		福岡県北九州市	弥生前期末	長 100.3	カシ	8、4 ~ 6	
14	櫛状木製品	金山遺跡	VIX B 91 東 端6層下層~7 層	福岡県北九州市	弥生終末~古 墳初頭	長 72.7	アカガシ垂 屈	10、11、4 ~ 6	
15	櫛状木製品	畔遺跡	1区4a・4b層	福岡県北九州市	弥生前期末~中 期	長 (82.4)		12、4 ~ 6	
16	櫛状木製品	畔遺跡	1区4a・4b層	福岡県北九州市	弥生前期末~中 期	長 (13.8)		12、4 ~ 6	
17	櫛状木製品	上原遺跡	1区3層	福岡県糸島市	弥生~後期	長 (88.2)		4 ~ 6	
18	櫛状木製品	夜丘・三代遺 跡群	OMR区・第6 区	福岡県新宮町	古墳前~中期	長 100.8		13、3 ~ 6	完形 1
19	櫛状木製品	離川遺跡	TSX001	福岡県太宰府市	弥生時代後期~ 古墳前期	長 (75)		14、4 ~ 6	
420	櫛状木製品	東名遺跡	第2貝塚	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (115.3)	ヒサカキ	15、4 ~ 6	報 45
421	櫛状木製品	東名遺跡	第2貝塚間層6	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (50.6)	クスノキ科	15	報 46
422	櫛状木製品	東名遺跡	第2貝塚間層1	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (29.8)	ヤマハゼ	15	報 47
423	櫛状木製品	東名遺跡	第2貝塚 SK2056	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (66.1)	クスノキ科	15	報 48
424	櫛状木製品	東名遺跡	第2貝塚	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (32.0)		15	報 49
425	櫛状木製品	東名遺跡	第2貝塚	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (40.8)	イヌガヤ	15	報 50
426	櫛状木製品	東名遺跡	第2貝塚間層3	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (34.1)	クスノキ科	15	報 51
427	櫛状木製品	東名遺跡	第1貝塚	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (30.0)	ニガキ	15	報 52
428	櫛状木製品	東名遺跡	第1貝塚	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (18.2)	ヒサカキ	15	報 53
429	櫛状木製品	東名遺跡	第1貝塚	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (17.8)		15	報 54
430	櫛状木製品	東名遺跡	第1貝塚	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (17.0)	サカキ	15	報 55
431	櫛状木製品	東名遺跡	第1貝塚	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (18.1)		15	報 56
432	櫛状木製品	東名遺跡	第2貝塚	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (33.3)	マキ綱	15	報 57
433	櫛状木製品	東名遺跡	第2貝塚	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (25.9)	ヒサカキ	15	報 58
434	櫛状木製品	東名遺跡	第2貝塚間層	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (24.0)		15	報 59
435	櫛状木製品	東名遺跡	第2貝塚間層6	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (21.6)	ヒサカキ	15	報 60
436	櫛状木製品	東名遺跡	第2貝塚	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (18.8)	サカキ	15	報 61
437	櫛状木製品	東名遺跡	第2貝塚	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (19.1)	モッコク	15	報 62
438	櫛状木製品	東名遺跡	第2貝塚間層1	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (19.7)	ヒサカキ	15	報 63
439	櫛状木製品	東名遺跡	第2貝塚	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (19.6)	カヤ	15	報 64
440	櫛状木製品	東名遺跡	第2貝塚間層1	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (21.5)	ゴンズイ	15	報 65
441	櫛状木製品	東名遺跡	第1貝塚	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (19.2)	クスノキ科	15	報 66
442	櫛状木製品	東名遺跡	第2貝塚 SK2021	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (9.9)	カヤ	15	報 67
443	櫛状木製品	東名遺跡	第2貝塚間層3	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (14.7)	クスノキ	15	報 68
444	櫛状木製品	東名遺跡	第2貝塚	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (32.7)	サカキ	15	報 69
445	櫛状木製品	東名遺跡	第2貝塚	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (8.7)	サカキ	15	報 70
446	櫛状木製品	田原遺跡		長崎県平戸市	弥生早期	長 108		16、4 ~ 6、 9	

5 「九州の遺跡・古墳」 (http://www.netpia.jp/history/kofun.htm)

6 金闇丈夫 「手都郡若宮町竹原古墳奥壁の壁画」 「九州考古学」 19 (1963年)

7 九州考古学会 「北九州古墳園」 (1951年)

8 小田富士夫 「福岡県若宮町装飾櫛穴蓋塗報」 「史蹟」 74 (1957年)

9 玄洋開発会社 「黒部古墳群」 (1979年)

10 烏島虎彦 「後に於ける二、三の装飾古墳の新例」 「歴史と地理」 14-1 (1938年)

11 烏島虎彦 「ノイコ・月ノノ古墳」 「福岡県史蹟名勝天然記念物調査報告書」 第一報 (1925年)

12 福岡県 「古墳石室」 「福岡県史蹟名勝天然記念物調査報告書」 第一報 (1925年)

13 大牟田市教育委員会 「大牟田市文化財解説」 (1960年)

14 玉京大架 「奈都郡紙上山の音櫛穴古墳の調査」 「福岡県史蹟名勝天然記念物調査報告書」 7 (1932年)

15 渡辺正記 「古賀精里」 「筑後国朝倉郡福塚古墳」 「福岡県文財調査報告書」 17 (1954年)

16 「田代太田塚」 「在賀県史蹟名勝天然記念物調査報告書」 第一報 (1928年)

17 佐賀県立博物館 「装飾古墳の壁画」 (1973年)

18 村川逸郎 「古賀島内「船」に関する線刻土器及び古墳の線刻壁画」 「原の辻ニュースレター」 24 (長崎県教育庁原の辻遺跡調査事務所、2006年)

19 副島康司・木村大太「鬼屋久保」 「郡・浦町の古墳」 (宅岐郷土、1981年)

20 郷ノ浦町教育委員会 「大米古墳」 (2000年)

22 赤司善平「水鶴山麓の装飾古墳・西古墳を中心とした近年の調査成果」 「月刊 考古学ジャーナル」 395 (ニューサイエンス社、1995年)

23 西山由美子 「古墳に描かれた船」 「装飾古墳の展開」 埋蔵文化財研究会 (2002年)

24 佐賀県市教育委員会 「国史跡・五郎山古墳」 (1998年)

1 「出典 表3」

1 西日本新聞社「船の文様入り土器片を発掘」 (1990年4月24日)

2 浅利幸一「土器に描かれた船~弥生~古墳出現期を中心として~」 「市原市文化財センター研究紀要Ⅱ」 (財団法人市原市文化財センター、1993年)

3 財団法人北九州市教育文化財団埋蔵文化財調査室「古賀田遺跡」 (1993年)

4 福岡市歴史資料館「古代の船」 (1988年)

1 「出典 表4」

1 力韋卓治「居居屋」 (福岡市教育委員会、2003年)

2 下村智「奈都遺跡2」 (福岡市教育委員会、1995年)

3 吉田知史「大日本原 古代の土器の研究」 「待兼山論叢」 (大阪大学大院、2005年)

4 江野道和「原始・古代船の推進具(上)~研究から考古資料の分類まで」 「伊都国歴史博物館 紀要」 3 (2008年)

5 江野道和「原始・古代船の推進具(中)~纏文時代から古墳時代を中心とした推進具集成」 「伊都国歴史博物館 紀要」 4 (2009年)

6 江野道和「原始・古代船の推進具(下)~纏文時代~古墳時代の推進具集成」 「伊都国歴史博物館 紀要」 5 (2010年)

7 福岡市教育委員会 「拾六町ツイジ遺跡」 (1983年)

8 北九州市教育文化事業団「古墳時代の装飾古墳を中心とした近年の調査成果」 (1983年)

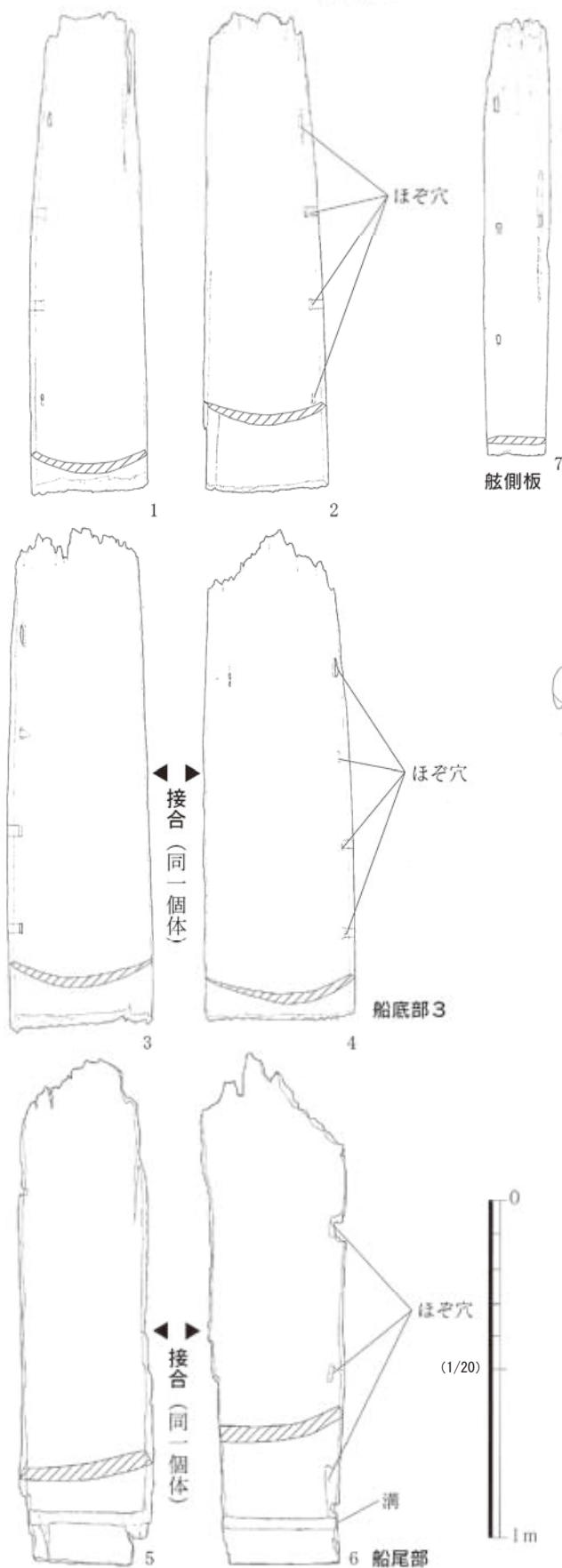
9 山田昌久編 「考古資料大観」 8 (小字館、2003年)

10 出土木器研究会開催事務局、(財)北九州市文化芸術文化財団埋蔵文化財調査室、椎田町教育委員会「第13回 出土木器研究会資料」 (2001年)

11 北九州市教育文化事業団「金山遺跡Ⅰ・V区」 (1999年)

船底部1

船底部2



※船底部1と2は接合せず別個体。船底部3と船尾部のそれぞれの2枚については同一個体である。

第1図 潤地頭給遺跡出土準構造船部材

1 花仙山 (島根県松江市)

2 水晶山 (福岡県北九州市)

3 志の瀬海岸 (福岡県福岡市)

4 城野遺跡 (福岡県北九州市)

5 銀八 (新潟県佐渡市)

6 哲提 (石川県小松市)

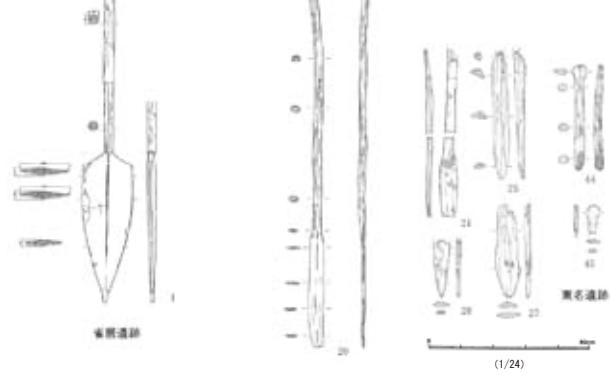
7 中野清水遺跡 (島根県出雲市)



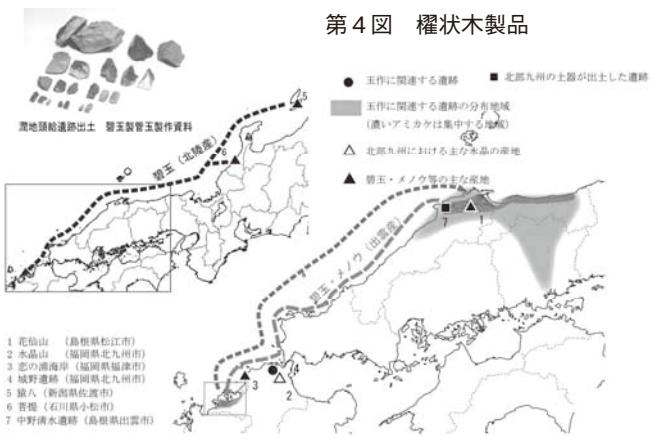
第2図 舟形木製品



第3図 線刻土器



第4図 横木状木製品



第5図 日本海沿岸地域の交流 (玉作り)